

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
66	B-03901782	男性	2■歳	150 mg		味覚異常	軽快	インフルエンザに対して、本剤投与。 3日後、味覚異常発現。 発現4日後、味覚異常軽快
67	B-03903223	男	■歳	不明	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン	意識レベルの低下 不機嫌	軽快	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用のたびに不機嫌、意識もうろう等の症状出現。症状発現後しばらく経過観察していると症状消失していたらしい。翌日夜に発熱、咳嗽も続くため急患受診し本剤中止し入院。その後症状の出現なし。
68	B-03931385	女	3■歳	150 mg	レボフロキサシン 塩酸アンブロキシロール テブレノン ファモチジン	味覚異常	未回復	リン酸オセルタミビル150mg/日を5日間処方。本剤投与終了8日後に口腔内違和感、無味覚症発現し、未回復。
69	B-03931391	男	1■歳	37.5 mg	アセトアミノフェン フマル酸クレマスチン 塩酸ツロブテロール カルボシステイン	意識レベルの低下	回復	1998年6月から成長ホルモン分泌が低下しはじめ現在も成長ホルモンを投与している。インフルエンザ治療のため夕方よりリン酸オセルタミビル服用開始(39°C)。服用2日目の18時頃解熱していたがつかなくて横になっていた。嘔気出現し嘔吐後そのまま意識が悪くなった。意識低下は3分ほど持続。18時40分頃来院、顔色不良だが意識は清明。翌日点滴にて解熱傾向、嘔吐もなし。
70	B-03931781	男	■歳	120 mg	アセトアミノフェン レバミピド	幻視 異常行動	回復	発熱有り受診し、インフルエンザと診断される。本剤投与2日目、異常行動、痙攣発現。入院となるが、会話できる状態であったため、本剤内服継続し経過観察。脳波所見からインフルエンザ脳症と判断して、幻視、異常行動もインフルエンザ脳症と考え、本剤を投与継続。本剤服用3日目、解熱し、本剤服用中止となる。
71	B-03932360	男	■歳	68 mg	ヒベンズ酸チペピジン d-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸アンブロキシロール クラリスロマイシン	譫妄	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル68mg/日を投与開始。投与2日目夕刻、譫妄状態(母親のことが分からない、実在しないものが見える)発現。譫妄は一晩で改善したが、翌日も落ち着きがない状態が続く。脱水、肝機能障害があり入院し、同日、内服薬は全て中止。投薬中止から8日目には肝機能障害も回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
72	B-03933105	男	■歳	105 mg	アセトアミノフェン フマル酸クレマスチン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン	部分発作	軽快	体温40.0℃となり、アセトアミノフェン坐薬(200mg)使用。 翌日、体温38.7℃、鼻水、鼻づまり、咳からむ、咳時々にて本剤投与開始。 本剤2回目投与後、「こわい！」とわめく、視線合わなくなる。 体温40℃となり、他院受診。「脳炎」ではないと言われる。 翌日、体温38.2℃。その後本剤は服用せず、ふつうとなる。
73	B-03933783	女	■歳	40 mg	ロキタマイシン カルボシステイン 臭化水素酸フェノテロール 塩酸シプロヘプタジン	痙攣	軽快	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル40mg/日を処方。5日目朝の服用後、投与終了。翌朝、意識なく、両手をびくびくさせたり、眼球上転し全身強直など、痙攣が何度か続く。他剤投薬により、午後になって意識清明。同日入院し、後遺症なし。4日後には痙攣重積回復。
74	B-03933859	女	6■歳	150 mg	カルベジロール レボチロキシナトリウム グリベンクラミド アカルボース	脳血栓 血圧低下	未回復	発熱(38.6℃)にて本剤服用開始。 2日後、血圧低下。 その2日後、本剤服用中止。 服用中止21日後、右半身麻痺発症。 2日後、入院し脳血栓症の診断。 退院後も右半身麻痺症状は消失せず。
75	B-04000134	女	2■歳	150 mg	塩酸テルビナフィン アセトアミノフェン	意識レベルの低下 汎血球減少症	軽快	爪白癬の治療のため塩酸テルビナフィンを服用中。また、毎年の検診で白血球減少、貧血との由。40℃の高熱があり、診断キットでは(-)だったが、リン酸オセルタミビル150mg/日とカロナールを処方される。5日間服用後、翌朝から意識障害があり、受診したところ、汎血球減少があり、入院。搬入時は意識清明だったが、なぜ来たのかわからないとのこと。入院4日目、徐々に解熱、意識清明だが記憶、記憶力障害がのこる。脳波上徐波が目立つ。12日目、汎血球減少症、意識障害は軽快し、退院。言語リハビリへ通院。退院から1週間後のDLSTで、リン酸オセルタミビル及びアセトアミノフェン(-)、塩酸テルビナフィン(+/-)。

No	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
76	B-04000835	男	7歳	150 mg	麻黄湯 アスピリン シメチジン	認知症	回復	アスピリン、シメチジンを投与されていた(開始日:不明)。38℃の発熱があり、インフルエンザA型と診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日及び麻黄湯を5日分処方されたが、4日目に認知症が激しくなり、家の間取りも忘れる。リン酸オセルタミビルを4日分で中止後、記憶力は次第にもどり、事象発現から7日目には認知症症状も良くなった。
77	B-04001019	男	1歳	75 mg		痙攣 意識レベルの低下	回復	39℃の発熱で、インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル75mgを服用後1時間半で意識障害、30分のけいれんが出現。入院し点滴を受け5時間半後には意識清明となる。事象発現から2日後には意識障害、痙攣は回復し、後遺症なく退院した。
78	B-04001616	男	1歳	150 mg	塩酸セフカペンピボキシル 塩酸メホルミン グリメピリド	譫妄	回復	プラダーウィリー症候群、糖尿病、中等度精神発達遅滞により治療中(開始日:不明)。発熱があり、インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を4日間服用し(5日目の朝も服用したかもしれない)、症状は治まった。投与終了後3日目(2日目かもしれない)の夕食時より、興奮、意味不明の発言、言動まとまりなく意味不明の記号を書き続ける、手を洗い続ける等の事象が発言。翌日も言動まとまらず、「誰かが来る」と怖がる。事象発現4日目、混乱がつづくため入院となる。他剤投薬により症状は軽減。事象発現から12日目に譫妄は回復し、退院した。
79	B-04006355	女	8歳	150 mg	塩酸ドネペジル	不安	回復	老年痴呆、骨粗鬆症、背部痛、骨関節炎で塩酸ドネペジルを投与されていた。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日が投与され、翌日にはほぼ解熱。投与3日目の夜、家が火事になった等の幻覚が発現。不穏状態が発現し持続するため、本剤の投与を中止。翌日には次第に不穏状態が軽快し、投与中止5日後には全く以前のとおりとなった。
80	B-04007755	女	1歳	150 mg	アセトアミノフェン 塩酸アンブロキソール ヒベンズ酸チペピジン	てんかん	軽快	リン酸オセルタミビル150mg/日他を投与。投与開始3日目で痙攣を発症、てんかんと診断。同日で服用終了。3ヶ月後、抗てんかん薬服用中。てんかんの症状はおさまっている。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
81	B-04008325	女	3■歳	150 mg	セフトレンピボキシル セファゾリンナトリウム ロキソプロフェンナトリウム サリチル酸ナトリウム・カフェイン 配合剤 リン酸クリンダマイシン アジスロマイシン水和物	精神障害 悪寒(N) 悪寒(N) 血中クレアチンホスホキナーゼ増加	回復	リン酸オセルタミビル150mg/日及びセフトレンピボキシル他を処方。4日目、39°Cに熱が上がり、肺炎出現のため、セフトレンピボキシルをアジスロマイシン水和物に変更受診。帰宅後アジスロマイシン水和物を内服後、40°Cの高熱とパニックが出現。病院でも奇声を発したうち回っているため入院。翌日パニックはおさまったが、炎症、肝障害が認められたが、本人の希望で退院。
82	B-04008398	男	1■歳	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸ツロプロテロール メキタジン	幻覚 痙攣 意識消失	回復	診断キットでは(-)だったが、症状改善のためリン酸オセルタミビル150mg/日他を処方され、同日夕方、2回目服用後、突然、意識消失、痙攣発作出現。本剤も嘔吐。意識回復後も幻覚症状あり、治療。事象発現から7日目に回復。
83	B-04008523	男	1■歳	30 mg	アジスロマイシン水和物 アセトアミノフェン	意識レベルの低下	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル60mg/日他を処方。帰宅後、本剤30mgを服用。1時間後、軽度意識混濁発現、かん高いうなり声、約40分間の多弁、目が丸くなった、多動、41.7°Cの高熱が認められた。事象発現から1時間後には落ち着き、さらに1時間後に再度受診したが、意識清明、発熱38°C。翌日朝、調子が良くなり、36.8°Cに解熱。
84	B-04024623	男	■歳	不明		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、夕方、リン酸オセルタミビル(量は不明)を服用。翌朝、2回目を服用し、解熱したが、食欲・活気不良。同日夕方、異常な発言あり、倒れ込み受診、軽度意識障害が疑われた。同日夜、救急外来を受診、平熱で歩いて入室し、見当識は保たれていたが、意識清明とは言えずごく軽度の意識障害が疑われた。本剤は2回の服用で終了。事象発現から9日目に徐波消失、退院。退院から18日後、夜間に突然、強い不安と軽度の意識変容が見られ、入院。経過は前回と全く同様で、10日目に退院。
85	B-04024731	男	4■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) セフジニル 塩酸プロムヘキシム 塩化デカリニウム 葛根湯	痙攣 意識消失	回復	B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。てんかん発作の既往あり、また、インフルエンザ罹患なしの状態、原因不明の意識消失の経験あり。最終投与(4日目)の翌日にけいれん発作及び意識消失の発現。搬送先での診断は、(側頭葉)てんかん疑い。バルプロ酸ナトリウム投与等の処置により、有害事象発現4日後回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
86	B-04024816	女	6■歳	150 mg	テガフル・ギメラン・オテラシ ルカリウム アセトアミノフェン 塩酸エホニジピン メクロプラミド	意識レベルの低下 痙攣	回復	B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル 150mg/日を投与開始。最終投与(4回目)後当日中に、言 語、行動異常出現。バルプロ酸ナトリウム投与等の処置 により、有害事象発現16日後回復。
87	B-04025081	女	■歳	不明	なし	幻覚 嘔吐	不明	インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタ ミビルを服用後、まもなく幻覚あり、嘔吐し、泣いた。
88	B-04025544	女	4■歳	150 mg	アセトアミノフェン テブレノン	眼振	未回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル 150mg/日を投与開始。投与2回目の翌日に眼振発現、良 性発作性頭位眩暈症と診断。その後継続加療中。
89	B-04026211	男	■歳	不明	なし	幻視	回復	B型インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセ ルタミビルを服用。投与開始後3日目に、幻視及び不機嫌 (軽微)の有害事象発現、入院。本剤中止後5日後に回 復。
90	B-04026213	男	5■歳	75 mg	なし	意識レベルの低下	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル 75mg/日を投与開始。投与1回目の2時間後に嘔気自覚、 引き続き意識消失及び嘔吐の有害事象発現。5分後には 回復。翌日外来受診するが、有害事象は認められず。
91	B-04026477	男	■歳	40 mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	傾眠	回復	B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル 40mg/日を3日間服用。投与開始後4日目、活気がなくなり、 傾眠傾向がみられた(けいれんはなし)。8日目、発熱 及び傾眠傾向が観察されるため、入院。11日目、回復。
92	B-04026632	女	3■歳	150 mg	クラリスロマイシン 非ピリン系感冒剤(4) メフェナム酸 トラネキサム酸 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	味覚異常	回復	発熱のため、リン酸オセルタミビル150mg/日、メフェナム 酸及び非ピリン系感冒剤(4)を投与。投与開始後3日目、 キットにてB型インフルエンザと確定診断、クラリスロマイ シン他を追加処方(リン酸オセルタミビルは継続投与)。4 日目、味覚障害(重篤でないが軽微でもない)が発現。5 日目、頭痛、めまい及び発熱がみられたため、本剤投与 中止。10日目にベタヒスチンメシル酸塩等による処置を 行った結果、11日目に回復。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
93	B-04026769	男	3歳	150 mg	アセトアミノフェン	意識消失	不明	インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを服用。投与終了後2日目、意識消失が発現。現在転帰不明。
94	B-04026773		歳	不明	なし	痙攣	不明	B型インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビルを1回服用。解熱後、一過性痙攣で嘔吐。本剤投与中止。その後、症状は消失。
95	B-04026778	男	3歳	150 mg	塩酸エブラジノン	頭痛	回復	B型インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを投与。投与開始後3日目、頭痛がひどくなるとの訴えから本剤投与中止。痛みが強いため、入院。その後、回復。
96	B-04026885	女	5歳	150 mg	なし	浮動性めまい	不明	メニエール病の既往あり。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与。投与開始後2日目、めまいがひどいとの愁訴あり。4日目、本剤投与中止。体調不良の際にはめまいが発現するとの愁訴は報告時にも継続。
97	B-04026971	男	9歳	150 mg → 225	塩酸チアラミド トロキシピド ニフェジピン アロプリノール アスピリン フロセミド ニコランジル 一硝酸イソソルビド 酒石酸メプロロール ファモチジン レバミピド ニトログリセリン 耐性乳酸菌配合剤(1)	ミオクローヌス	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与2日目夕刻、コンプライアンス上の問題あり(2~3カプセルを服用と推測)。同日深夜、不規則な振戦様の不随意運動出現。翌日も脱水著明、顔・体幹・四肢の不随意運動改善せず。リン酸オセルタミビルの服用中止。更にその翌日も、不随意運動改善せず、全身のミオクローヌス様不随意運動と診断、入院。有害事象発現後6日目回復、退院。
98	B-04027244	男	歳	60 mg	なし	浮動性めまい	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル60mg/日を投与開始。夕食後服用、寝る前にふらつき(錐体外路障害の様子)が見られたため、リン酸オセルタミビルの服用中止。翌日有害事象改善。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
99	B-04027249	女	5歳	150 mg	塩酸オロパタジン	意識消失 発疹 顔面浮腫	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。2回目の服用後、胸部背部に発疹が出現するが、未処置のまま就寝。翌朝、発疹はやや軽減するが、顔面浮腫の自覚あり、さらに排尿時にごく短時間の意識消失発現。再度リン酸オセルタミビルを服用したところ、気分不良及び発疹増悪、入院。点滴加療等により、翌日回復、退院。
100	B-04027255	男	1歳	150 mg	ヒベンズ酸チペピジン	幻覚 幻聴	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル150mg/日及びヒベンズ酸チペピジンを投与開始。2回目の服用の2時間後、1回の幻聴出現。服用4時間後、4回の幻覚出現。幻覚出現の5時間後、両有害事象回復。
101	B-04027258	女	3歳	300 mg	なし	顔面神経麻痺	不明	A型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル300mg/日を投与開始。投与2日目頃より、左口角下垂、唾液流出、左顔面神経麻痺(重篤でないが軽微でもない)が発現。4日目、左眼瞼下垂と違和感。7日目、左顔面神経麻痺疑いと判断、その後の転帰不明。
102	B-04027262	女	■歳	不明	なし	痙攣 呼吸停止	不明	インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビル投与開始。本剤服用2-3時間後痙攣発現、呼吸停止。(再々にわたり詳細調査を依頼したが担当医の協力が得られず、これ以外の詳細不明)
103	B-04027265	女	■歳	80 mg	塩化リゾチーム セフジトレンピボキシル フマル酸ケトチフェン	嗜眠 低体温	不明	A型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル80mg/日を投与開始。投与2日目に嗜眠発現。3日目、低体温発現し、本剤投与中止。低体温は6時間で回復。
104	B-04027266	男	5歳	150 mg	ファロペネムナトリウム ロキソプロフェンナトリウム 非ピリン系感冒剤(4) アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	浮動性めまい 冷汗 嘔吐 下痢 血圧上昇 心電図QRS群延長	回復	B型インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを投与。投与開始3日目夜間より、冷汗、眩暈、悪心発現。3日目、完全右脚ブロック(QRSの延長)を確認。冷感、体動時眩暈、嘔気、嘔吐あり、入院。4日目、眩暈あるも嘔気、下痢回復。5日目眩暈続くも退院、以後転帰不明。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
105	B-04027318	女	8歳	150 mg	バルプロ酸ナトリウム	うつ病	回復	てんかんの既往あり、バルプロ酸ナトリウム長期投与中。B型インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを投与。投与開始後7日目、異常な発言と共に意欲の低下著名、うつ症状発現。有害事象発現後7日目、回復。
106	B-04027499	女	■歳	200 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン レボフロキサシン	幻覚 痙攣	回復	A型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル200mg/日を投与開始。投与開始1日目、1回目の投与後、少しの震えを観察。2回目投与約1時間後、全身の震えるような痙攣発現、幻覚をみているような状態が1時間続いた。2日日本剤服用中止、痙攣回復も脱水症状あり、入院。3日目、有害事象回復し、退院。
107	B-04027500	女	4歳	75 mg	なし	意識消失	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。1回目の服用30分後、意識消失発現、転倒し、前頭部を床にぶつける。5分後、意識回復。本剤服用中止。その後は有害事象発現せず。
108	B-04027668	男	6歳	150 mg	メフェナム酸 非ピリン系感冒剤(4)	味覚異常	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与開始2日目、味覚障害を発現。合計5日間本剤服用した後、投与中止。翌日、味覚障害回復。その後9日目、調子が悪くなり(だるい)、悪寒、味がおかしくなるとの訴えあり。味覚障害については、報告時未回復。
109	B-05000045	女	■歳	70 mg	なし	失語症 意識レベルの低下	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル70mg/日を投与開始。投与開始2日目夕刻、自分の名前、年齢等が言えないことが観察されるため、入院。本剤の服用は、2日目の朝で中止。翌日、有害事象回復するも、有害事象発現時の状況に関する記憶なし。
110	B-05000047	男	■歳	36 mg	塩酸プロカテロール フマル酸ケトチフェン カルボシステイン	意識レベルの低下	回復	A型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル36mg/日を投与開始。投与1回目10秒後、嘔吐と一過性の意識障害(数秒間)が発現。すぐに回復。入院して経過観察するが、以後有害事象の発現なし。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
111	B-05000146	男	2歳	150 mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与開始2日目朝の本剤服用前、意識消失発作(数分間)発現、救急受診時には意識回復したが、観察入院。夕刻、本剤を内服するが、有害事象発現せず。翌日退院。
112	B-05000160	女	6歳	150 mg	アセトアミノフェン	筋痛(両上肢脱力を伴う筋肉痛) 感覚障害(上半身皮膚知覚異常)	未回復	発熱、関節痛のためインフルエンザ確定診断を実施せずリン酸オセルタミビルを投与開始。翌日両上肢脱力を伴う筋肉痛、上半身皮膚知覚異常発現。その後の処置、転帰等については不明。
113	B-05000322	男	5歳	75 mg	フルオキシメステロン プレドニゾン テブレノン ニコチン酸トコフェロール 塩化カリウム ジピリダモール 塩酸アンプロキソール 臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸セフカペンピボキシル 非ピリン系感冒剤(4) レノグラステム(遺伝子組換え) ロキソプロフェンナトリウム	痙攣(全身性痙攣)	軽快	発作性夜間血色素尿症、再生不良性貧血、慢性腎不全の既往あり。38℃を超える発熱出現感冒薬等投与するが、2日後になっても発熱、倦怠感持続のため受診。迅速検査でインフルエンザBと診断、リン酸オセルタミビルを投与。2回投与後全身性の硬直性痙攣が出現し、数分間持続。その後通常状態に戻るも、痙攣の前半部の記憶は定かでない。腎機能増悪のため治療。
114	B-05000394	女	4歳	150 mg		意識レベルの低下 落ち着きのなさ	回復	39℃の発熱があり受診、インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投与。4日間自宅で療養。4日目の夜、意識障害、不穏状態発現。投与を中止し翌日インフルエンザ確定診断実施するがウイルス検出されず。意識レベルが低かったため入院、ステロイドパルス療法により症状軽快、症状発現3日後にほぼもとの状態に回復し、7日後に回復退院。
115	B-05000602	女	■歳	50 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン フマル酸ケトチフェン カルボシステイン ラクトミン	意識レベルの低下(意識消失)	回復	アトピー性皮膚炎、食物アレルギー等の既往あり。日本脳炎ワクチン接種の翌日38.9℃の発熱、迅速検査でインフルエンザB型と診断されリン酸オセルタミビル投与。本剤服用開始4日後の夜突然転倒し、約10秒間意識消失、約10分間顔色不良、その後意識回復し、清明。その後2日間投与を継続したが異常なし。心電図、血液、脳波、全能MRI検査を実施するも異常を認めず。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
116	B-05000676	男	3■歳	75 mg	塩酸エピナスチン ジクロフェナクナトリウム 鎮咳配合剤(1) 非ピリン系感冒剤(2) アズレンスルホン酸ナトリウム・L- ーグルタミン 耐性乳酸菌製剤(2)	意識消失(意識消失発作)	回復	季節性アレルギーの既往歴。38.3℃の発熱、咽頭痛、咳、 軟便の自覚症状あるため、確定診断陰性であったがリン 酸オセルタミビルを投与。翌朝服用1時間後に突然意識消 失発作発現、5秒程度で全く後遺症残さずに回復するが、 本人はその間の記憶は全くない。本剤の服用を中止し、 受診するが全身状態全く異常なし。
117	B-05000768	男	2■歳	150 mg	カルマバゼピン パルプロ酸ナトリウム クロナゼパム	眼の脱臼(眼球上転) ジスキネジー(不随意運動 (四肢))	回復	元来強剛性脳性麻痺がある患者。インフルエンザ治療の ためリン酸オセルタミビルの投与を開始。翌日眼球上転、 不随意運動(四肢)が発現。本剤の投与を中止し、翌日に 回復した。
118	B-05000870	女	8■歳	150 mg		味覚異常(味覚障害)	回復	インフルエンザB発症しリン酸オセルタミビル5日間投与。 投与終了2日後インフルエンザ軽快したが、味覚障害・嗅 覚障害発現。味覚障害等発現6日後回復。
119	B-05000873	女	2■歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) 鎮咳配合剤(1) 塩酸アンプロキソール	痙攣(痙攣) 失神(失神)	回復	インフルエンザB発症しリン酸オセルタミビル投与。本剤投 与3日目の朝服用後1~2時間後腹痛、嘔吐、手足のしび れあり。意識消失、失神、痙攣発現。数分で軽快、特に処 置せず。夜に本剤投与したが何事もなかった。翌日受診 するが特別な所見は認めず。
120	B-05000880	女	6■歳	150 mg		味覚異常(味覚障害) 嗅覚錯誤(嗅覚障害)	回復	インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビルを投与。 投与開始4日後に味覚障害、嗅覚障害発現。その後も投 与を続け、開始5日後に投与終了。投与終了後8日で軽 快。
121	B-05001017	女	7■歳	150 mg	塩酸ドネペジル 塩酸ラニチジン スクラルファート	意識レベルの低下(意識障 害)	回復	老年痴呆の既往あり。インフルエンザA,B治療のためリン 酸オセルタミビルの投与を開始。6日間投与を2クール実 施後4日後に意識障害が発現。終日眠っており覚醒しな い。補液のみで翌日から回復に向かい、意識障害発現後 5日後に意識障害は回復した。
122	B-05001027	男	5■歳	150 mg		味覚消失(味覚喪失) 無嗅覚(嗅覚喪失)	未回復	インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビルを投与 開始。本剤投与2日目から味覚障害・嗅覚障害発現。本 剤投与4日目中止し、耳鼻科受診するが、味・嗅覚喪失 改善されず、以後耳鼻科にて投薬を受けている。

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
123	B-05001028	男	■歳	99 mg		譫妄(譫妄(意味のわからない事を言う))	軽快	インフルエンザに対してリン酸オセルタミビルを投与開始。翌日譫妄(意味のわからない事を言う)発現。本剤の投与を中止したところ翌日軽快。
124	B-05001125	男	6■歳	75 mg	カルボシステイン ステアリン酸エリスロマイシン	意識レベルの低下(タミフルの アレルギー反応(意識障害))	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与。食後カルボシステイン、ステアリン酸エリスロマイシンと同時に服用したところ5分以内に意識がなくなる。救急車到着後まもなく意識が戻ったため、自宅静養。回復する。その数日後、再度受診し本剤DLSTの検査を行ったところ、S.I.値217%であった。
125	B-05001224	男	■歳	110 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン パモ酸ヒドロキシジン	落ち着きのなさ(不穏状態) 幻覚(幻覚)	回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与。本剤服用後入眠しその3時間後、覚醒直後から幻覚などの異常行動出現。当日中に再度受診し、生食点滴にて症状回復。
126	B-05001259	男	■歳	80 mg		幻視(幻視) 譫妄(夢遊状態)	回復	インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビル投与2日後突然起きだしげらげら笑い出し、つまむような手の動作をする。発熱39℃。同じ状態が解熱するまで4日間続く。平熱になり、意識正常になった2日後インフルエンザA発症、本剤を1日投与するが譫妄等なく解熱する。
127	B-05001265	女	5■歳	150 mg	セフジトレンピポキシル セラペプターゼ リン酸ジメモルファン メクロプラミド ジサイクロミン・水酸化アルミニウム配合剤 酸化マグネシウム	悪夢(悪夢)	回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与。投与開始日の夜、悪夢発現。発熱中夜睡眠時に悪夢発現。本剤投与開始3日後平熱化し、自覚症状改善したため、当日夜の服用を中止したところ、悪夢を見なくなった。回復。
128	B-05001338	男	5■歳	150 mg	セフジトレンピポキシル セラペプターゼ リン酸ジメモルファン メクロプラミド ジサイクロミン・水酸化アルミニウム配合剤 アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	悪夢(悪夢)	回復	前日から38℃発熱、インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビル投与。その夜悪夢出現。飲み続けた2日間、悪夢継続。本剤投与中止により悪夢の自覚症状改善。